PHR協会 IHMS委員会議事録（案）

日時：2016年⒑月21日（金） 15:00 – 1７:00　場所：フクダ電子会議室　＋　Web会議

出席者：藤井田（ISOLA）、大林(メタキューブ)、鈴木淳夫、村山（京都工場保健会）、毛利（淳風会）、佐藤（フクダ）、森口　記

Web側：細羽、織田、（回線の不調により、Web側は参加不可）　（順不同敬称略）

資料：下記に関連部分のみ詳細

1. 資料1： 20160921IHMS議事録(案)
2. 資料2：統合プロファイルにおける最新のテンプレートを配布（大林）

**１． 議事（以下、鈴木司会）**

前回議事録の確認をしつつ、主に「健診統合プロファイル」のアウトプットについて議論した。

1. 前回議事録の確認（鈴木）
2. １０月８日のＰＨＲ協会の講演会の状況を説明
3. PHR協会検討中の頭語プロファイルとSS-MIⅡとの関連性を確認した。

SS-MIⅡはDBではない、とびうめネットと統合プロファイルをつなぐには、本来的には、統合プロファイル側（CDA＝データベース）とXDS等で接続する考えの方がスムーズに行く？

1. IHMS委員会の統合健康管理システムの仕様書とJAHIS/HL7協会の仕様書の関係
   1. 統合プロファイルの検討状況を説明し、JAHIS／HL７協会側との情報交換会を検討中である。（事務局）
   2. 全体：下記、前回の議事録を確認して、そのとおりであることを確認した。
2. IHMS委員会では基本的には、JAHIS/HL7協会の仕様書に準拠して検討している。
3. 今回の仕様書では、セクションの体系・コードはJAHIS/HL7協会通りである。
4. JAHIS/HL7協会の仕様書をもとに実装例としてまとめた形である。
5. 項目及びコード定義などは差し替え可能となっているため、専門家による検討が必要である。
6. 上下限値の項目は、特定健診については国定でそのままだが、一般定健・特殊健診等は、適切な値を定義する必要がある。
7. 問診については、特定健診以外は、企業ごと・産業医ごとに異なる可能性がある（健診機関側のみでは決めにくい）ため、適切な問診メニューセットを揃えることが、実用的である。

［JAHIS/HL7協会標準に方式は定義してあったが、実務上は使いにくい。］

1. 議論事項：統合プロファイルのまとめとJAHIS/HL7協会との打ち合わせ項目について

JAHIS/HL7協会標準の活用について、ＩＨＭＳ委員会でこれまで1年間以上にわたり議論してきた内容を、JAHIS/HL7協会に、聞いてもらう必要がある。

1月中にも検討会の日程を調整いただくよう、事務局から提案する。（森口）

* 1. 最新のテンプレートリストを村山・毛利に手渡し、健診機関における現状仕様と比較して、テンプレートの運用方法をIHMS委員会に提案いただくこととする。
  2. 織田も、ドクターとしての立場から参加し、PHR協会の会員のうち、ドクターの会員（3名）にも呼び掛けて、協力を得ることとする。
  3. 一般定健のみでは範囲が小さいため、特定健診はもちろんのこと、10程度の特殊健診（健診の種類等については、京都工場保健会と淳風会で良く行われているものから二機関が選定する。）
  4. 臨床検査の検査項目についても、JLAC10のどれを使うかを2機関で調整してもらえば、何が問題かが理解しやすくなる。
  5. 喜多先生（＝JAHIS/HL7協会標準）の希望もあり、すでに**JAHISで決まったコード体系**はそのまま使うこととし、使えない理由が明確なもののみ、逆提案を行う。
  6. ただ、労働安全衛生法等の法制や、検査技術の進歩に関して対応してゆく体制をどのように考えるかを、JAHIS/HL7協会側が明確にしていただく必要がある。（森口）
  7. あるレベルの人間ドックについても、テーブル案を設定してはどうか？（森口）　→　村山・毛利　了解した。
  8. 作業完了時期は、12月くらいになるが、次回の会議には、検討の方向性を説明できるレベルにはできると考える。（村山・毛利）
  9. 波形の付帯情報の取扱いについて

1. 付帯情報のうち、（すべてではないが）いくつかは必要である。（織田）

ベンダ名・機器名等、所見のための解析の仕方が変わる可能性あり

　　　　　　測定日時・・・も必要。

1. 現在は、MFER関連情報インターフェース：MFER波形情報以外の関連情報はフクダ電子のXML仕様をもとにしたものとなっている。
2. 本来ならば、他のベンダとの調整が必要であるが、MFERおよび心電付帯情報については、IHMS委員会に所属しているのはフクダ電子のみであるため、JAHIS/HL7協会と議論するまでは、原則、PHR協会案＝フクダ電子使用案としてもいいのではないか。
3. 佐藤＠フクダ電子　が、整理して、次回11月29日のＩＨＭＳ委員会に提案する。
4. 特殊健診のコード表：IHMS委員会内での検討が未完であり、別途、検討が必要
5. 佐藤健一＠フクダ電子　が、次回IHMS委員会に提案を持参する。
   1. 画像の付帯情報の取扱いについて

ａ．画像などの添付については、JAHIS/HL7協会の規格中の添付の仕方の範囲を守っている。（大林）

ｂ．DICOMのヘッダー情報のうち、連携先に連絡するために必要な情報については、安藤先生・細羽先生の知恵を借りるのが適切である。（森口）

1. 統合プロファイルをパブリッシュする形態について

ドキュメント＋Excelとして、迅速に、インストールできる形式であるべきである。（大林）

　　結論　→　Excelシートとしてバージョン管理を行う。

1. JAHIS/HL7協会標準は、労働安全衛生法、糖尿病学会の基準値、人間ドック学会、、、への変更等の保守メンテ体制をオーソライズする必要がある。

これは、JAHIS/HL7協会に物申す必要がある（森口）

1. 所見名・診断名、、、、については、当面、日本語自由表記とする。

今回のWeb会議は、会議室がいつもの部屋と異なり、そのためか、Web会議が非常につながりにくい状態となった。今回の部屋では、Docomo系の携帯はつながりにくく、AU系・SB系は問題がなかったようなため、次回以降は、部屋の無線ネットのつながり具合を確認し、別の携帯ベンダの参加者にも協力を依頼することとする。

（5）次回は、11月29日1５時～1７時　　場所：フクダ電子会議室　＋　Web会議

―以上―